

平成 23 年度 6 月議会 一般質問

民主フォーラムの堤です。

通告に従いまして質問させていただきます。

今回の質問は、

新学習指導要領について 3 項目 7 点

観光振興策について 4 項目 8 点

具体的な展開についてお伺いしたいと思います。

理事者の皆様におかれましては簡潔かつ明瞭な答弁をよろしくお願いいたします。

新学習指導要領について

今年度から、小学校において新しい指導要領に基づく指導・学習が始まりました。

今回の改定は、平成 18 年に行われた教育基本法の全面改正後初めての改定であり、また昭和 55 年から始まるゆとりのある学校教育からの転換が行われています。

今回の改定によって、主要教科の学習時間が約 10% 増加することに加え、外国語学習が本格的に始まります。学習時間・学習内容の大幅な削減が行われた平成 14 年度の学習指導要領の改定では、同時に学校週 5 日制が始まっております。その観点からすると、学習時間のみが増加してしまっていることとなります。

そこで 4 点お伺いいたします。

1. 学習指導要領の改正によって本市における小学校の教育内容は、どこがどのように変わったのか具体的に教えてください。またその変更によってどのような効果が期待されるのか教えてください。
2. 開始から約 2 か月経ちましたが、現場ではどのような問題点が発生しているか、把握している内容を教えてください。またその対策にどのようなことを考えているか教えてください。
3. 授業時間数増加に対する先生の時間確保は、どのように対処しているのか教えてください。
4. 中学校における新指導の実施は次年度からですが、学力差を埋めるために講じられている移行措置を教えてください。

教育は、国力の下支えを養うためであると共に、社会への旅立ちをスムーズに行えるよ

うにサポートするためでもあると私は考えております。「近頃の若い者は・・・」という言葉は、ピラミッドの壁画にも書いてあるという話も聞きますが

5. 本市の新入職員ないしは若手職員を見て、どのような人材として育てて欲しいか、また今教育を受けている子どもたちにどのように育てて欲しいか、市長からエールの言葉をいただけたらと思いますが、お答えください。
6. そのような声を学校教育の現場にフィードバックされる仕組みとして、本市ではどのようなことが行われているのか教えてください。

今回の改定でも「生きる力」を養う、ということが重要視されていますが、

7. 本市では、この「生きる力」をどのように位置づけ、そのためにどのような取り組みを行っているのか教えてください。

観光振興策について

去る4月27日に細側ガラシャとその父明智光秀を主役とする親子の絆をテーマとしたNHK大河ドラマを誘致するため、細川ガラシャゆかりの長岡京市・宮津市・京丹後市、明智光秀ゆかりの亀岡市・福知山市・大山崎町、細川幽斎ゆかりの舞鶴市の6市1町および各市町の商工観光団体が参加する「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」が設立いたしました。これは5月15日発行の広報長岡京にも掲載され、誘致に成功すれば長岡京市に足を運んでいただける観光客数も大きく伸びるものと市民の関心と期待も大きく膨らんでおります。

国においても2007年に観光立国推進基本法を制定し、2008年に観光庁が設置されて本格的に観光振興に対し力を入れております。観光産業は、まちの歴史的・文化的資産を活用して地域を活性化することができる重要な産業であります。

大河ドラマの観光に対する影響力は、非常に強いと言われております。ほぼ1年の間、登場人物や歴史的背景と共に舞台となった地域が繰り返し放送されるために、視聴者がその地域に関心を持ち、ドラマの舞台となった歴史史跡を楽しむために足を運ぶようになるからです。現に、

2008年放映の篤姫の舞台となった鹿児島市では、鹿児島市の観光統計によると観光客の入れ込み客数は2007年の859万人から、2008年901万人と対前年比で42万人、5.0%増、

2009年放映の天地人の舞台となった米沢市では、山形県の観光統計によると同2008年の274万人から、2009年419万人と対前年比で145万人、52.9%増、

2010年放映の竜馬伝の舞台となった長崎市では、長崎市の観光統計によると同2009年の559万人から2010年610万人と対前年比で51万人、9.4%増

となっており、いずれも放送の前年と比較して大きく観光客数が伸びております。特に、米沢市は顕著な伸びを示しております。米沢市は人口8万9千人と本市と規模が近いので、大河ドラマ効果によって、どの位入れ込み客数が伸びるかの参考になると思われま

そこでまず大河ドラマの影響力に関し1点お伺いいたします。

1. 5月1日に放送された大河ドラマ「江」第16回において、番組の終わりに江ゆかりの地を紹介する江紀行で勝竜寺城が紹介されたのですが、放送の前後で勝竜寺城を訪れる観光客がどのように変化したか教えてください。具体的な数字があればお願いいたします。

次に、「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」に関してお伺いいたします。大河ドラマ誘致の目標は平成26年度ということですが、現在平成23年ですので、残り3年しかありません。制作発表は放送開始の2年前ですから、実質の活動期間はほんのわずかな時間です。そこで、4点お伺いします。

2. 「NHK 大河ドラマ誘致推進協議会」は現在どのような活動を行っているのでしょうか。進捗状況を教えてください。
3. 本市は誘致に向けてどの部署に何名の配置で活動を行っているのでしょうか。また独自の活動がございましたら合わせて教えてください。
4. ともに推進協議会を組んでいる他市町はどのような配置で活動を行っているのか教えてください。
5. 同じく平成 26 年度の放送を狙っているライバルがいるのでしたら教えてください。

私も大河ドラマ誘致に大きな期待をかけていますが、たくさんの観光客に来ていただくだけでは意味がありません。平成 21 年 12 月議会で質問させていただきましたように、観光客・訪問客にいかにして市内でお金を使ってもらうかが観光振興策の課題であります。大河ドラマ誘致が本当に成功するということは、本市にたくさんの観光客に来ていただき、たくさんお金を使ってもらい、本市が潤うことにあると考えます。

そこで 2 点お伺いいたします。

6. 観光客にお金を使っただけのためにどのような取り組みを行おうと考えているのか教えてください。また、そのために必要な準備期間はどのくらいの時間が必要だと想定しているのか教えてください。
7. 京都府の統計によりますと、本市に訪れる観光客の観光消費額は一人当たり平成 20 年度で 417 円、平成 21 年度で 401 円、平成 22 年度で 400 円と推計されていますが、先の消費振興策によってどの程度まで引き上げられることが期待されるのか教えてください。

大河ドラマには観光客誘致に強い効果を発揮します。しかしながら、放送期間は 1 年です。やはり一過性のものであると言わざるを得ません。先に例として挙げました 3 市も翌年には入れ込み客数が低下しております。そこで観光振興策として、大河ドラマの誘致だけに留まらず、継続的にドラマの誘致を行うフィルム・コミッションに取り組んではどうかと提案いたします。

フィルム・コミッションとは映画やドラマ等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うことです。例えば、秋の光明寺を撮影現場として映画の撮影を行いませんか、と映画制作者に提案したり、逆に粟生の河合家住宅を撮影地として使用したいという申し出があった際に地元と制作側のパイプ役を行ったり必要な行政手続きを行ったりする仕事です。

フィルム・コミッションは地方公共団体や観光協会の公的機関が取り組んでいることがほとんどで、原則非営利です。しかしながら撮影地として使われることによって、作品を見た人が観光に訪れ、お金を使うことによって経済効果をもたらすことが期待されます。また、文化振興・観光振興、地域活性化につながります。

皆様ご記憶のことと思うのですが、韓国ドラマの冬のソナタが2003年に日本で放送され、韓流ブームの火付け役となりました。その結果、熱心なファンがドラマの撮影地めぐりに遠く韓国まで足を運んだり、撮影地めぐりをパックスツアーにした観光商品がヒットといった経済効果がありました。また、アニメの中でも地方都市をモデルとした作品がヒットすると、そのモデルとなったまちにファンが押し寄せるということもありました。皆様をご存知のところでは、アニメ「クレヨンしんちゃん」の舞台となった春日部市などは主人公一家の野原家の住民票を発行するなどして観光につなげております。私自身も映画が好きなので、東京物語の撮影地の尾道市を訪れたり、京都市右京区の大映通り商店街を回って仁義なき戦いのシーンで使われた場所を見て回ったりしたこともあります。このように、映画やドラマの撮影地となること自体が新たな観光スポット開発につながってきます。

しかしながらやはり、フィルム・コミッションに取り組む場合も、観光振興のための積極的なPRと、お金を使ってもらうための仕組みづくりを整えなければなりません。

皆様ご存じの通り、光明寺は黒沢明監督の映画「羅生門」の撮影地であります。でも残念ながら、そのことをご存じの観光客は少なく、撮影地であることを観光PRしておりませんし、観光資源として活用されてもおりません。これは残念な例であると言わざるを得ません。

さて置き、フィルム・コミッションは観光客誘致の継続的な刺激策となりますし、今のうちに撮影地の開拓に取り組めば、大河ドラマの撮影地として提案することもできます。何より、自分の住むまちが映像として流れることはとても嬉しいものです。

長岡京市は田園があり、山林があり、住宅地があり、商店街があり、開発されたビルがあり、歴史的な史跡があり、文化財があり、と変化に富むので撮影地として面白いと思います。また、京都・大阪からも近いために制作者側にも都合が良いと思います。

大河ドラマの誘致を目指し、またその観光客を対象とした商業振興を行うならば、せっかくなので、並行してフィルム・コミッションに取り組み映画やドラマの撮影誘致を行ってはいかがかと思います。

8. 観光戦略の幅も広がると私は考えているのですが、このフィルム・コミッションの提案について市長はどのようにお考えでしょうか。

以上で1回目の質問とさせていただきます。